

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築計画 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平山 浩樹			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
組織設計事務所の建築士として 29 年間、建築の設計及び監理に携わる。スポーツ施設、集合住宅、大学、庁舎などの建築を担当し、基本計画、基本設計、実施設計、工事監理など建築のプロセスにおける実務経験を持つ。											
授業概要											
建築物を作り上げるプロセスには様々な職能が関わり、様々な意思決定がなされる。発注者から設計者へ、設計者から施工者へ、プロセスの初めから最後まで設計者が中心的な役割を果たすことが多い。そこでこの科目は、学生が企画設計・基本設計で重要となる建築計画の基礎知識を学び、実施設計まで昇華することが目的である。建築物は用途により、または建物の使われ方により諸室が果たす機能が違ってくる。そこを充分理解しながら、設計製図の科目並びに 2 級建築士程度の知識を学ぶのが目的である。											
到達目標											
この科目では、建築物の用途ごとに実例を示しながら歴史的変遷や有名建築を紹介し、学生が、建築に興味を持ってもらうことを第一目標としている。また、設計上必要となる諸室の名称、機能、面積などの基礎知識を、身に付けてもらうことを目標としている。学生の理解度を高めるため、アクティブラーニング形式かつグループワークを通して、諸室の関連性やゾーニングなどを身に付け、2 級建築士程度の知識を身に付けることが目標である。											
授業方法											
この授業では、考える力を育てるためにアクティブラーニングを採り入れる。ひとつしか解のない数学と違って、建築は施主・設計者によって解が変わる。そこで、他人と意見交換し情報を共有しながら、解を導き出すまでの過程を学んでいく。考えることを意識し能動的な学習を通じて、学生の「積極性・協調性」を育成する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験を総合的に評価する									
小テスト	25%	授業内容の理解度を確認するために実施する（レポートを含む）									
レポート	0%										
成果発表	0%										
平常点	25%	授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。											
教科書教材											
『初学者の建築講座 建築計画』（市ヶ谷出版社）、『コンパクト設計資料集成』（丸善）／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	学校教育施設の計画 1			幼稚園（保育園）の変遷、計画							
第2回	学校教育施設の計画 2			幼稚園（保育園）の計画、実例							
第3回	学校教育施設の計画 3			小学校・中学校の変遷、計画							
第4回	学校教育施設の計画 4			小学校・中学校の計画、実例建築							
第5回	福祉住環境コーディネーター対策			模擬テスト							

2022年度 日本工学院専門学校		
建築設計科		
建築計画 2		
第6回	福祉住環境コーディネーター対策	模擬テスト
第7回	学校教育施設の計画 5	レポート作成・発表 1
第8回	社会教育施設の計画 1	生活圏とコミュニティ施設、図書館の変遷、計画
第9回	社会教育施設の計画 2	図書館の計画、実例建築
第10回	社会教育施設の計画 3	美術館の変遷、計画
第11回	社会教育施設の計画 4	美術館の計画、実例建築
第12回	社会教育施設の計画 5	コミュニティセンター・公民館の変遷、計画
第13回	社会教育施設の計画 6	コミュニティセンター・公民館の計画、実例建築
第14回	社会教育施設の計画 7	レポート作成・発表 2
第15回	まとめ	最新の実例紹介、試験・課題